

学修目標

講義で学んだ歯と歯周組織の組織像を顕微鏡下で実際に観察することで理解を深め、さらに、組織像からその細胞や構造を同定して、同定および適切な所見を述べられるようにする。標本作製法や染色方法の違いが観察所見にどのように影響するかについても学ぶ。

- 教科書：1 カラーアトラス口腔組織発生学 第4版(わかば出版)
- 参考書：指定しない
- 授業時間：9月30日～11月18日の金曜日 14:00～16:50 計7回と
実習試験日 11月21日(月曜第1時限)の1回の合計8回
- オフィスアワー：鳥海 拓 月曜日 12:00～12:50
- 成績評価：第8回11月21日に実施する実習試験(100%)で評価・判定するが、提出物や受講態度不良の場合は減点評価することがある。また、実習中に行う顕微鏡を用いた小試験の結果も加味する。
- 注意事項：
 - ・実習マニュアル，講義ノート，色鉛筆(12色程度)を用意。白衣着用。
 - ・実習の進行や理解，受講態度等に問題がある場合，補完措置を課す。
 - ・やむなき事情により実習を欠席する/した場合は，事前あるいは当該実習日の翌日までに自分で担当教員に連絡し，指示を仰ぐこと。
- 準備学習：必ず事前にカラーアトラスを読んで実習の内容を理解すること。

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第1回9月30日 鳥海 拓 湯口 眞紀 山崎 洋介 大津 博司 斎藤 登 高木 英男 森川 保 難波 祐一 篠塚 恵造 鈴木 里恵 金沢 絃史	1. 歯の全体像 2. 象牙質	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯(象牙質，歯髄，エナメル質)と歯周組織(のうちセメント質)の位置や相互関係を，標本をスケッチしながら理解する。 ・ ① 脱灰後に薄切した標本，② 非脱灰での研磨標本，③ Schmorl あるいは Carbol fuchsin 染色標本など，歯や歯周組織の観察で用いる標本・染色法の意義を学ぶ。 ・ 象牙質に見られる次の構造や細胞の組織学的な特徴，成因・役割などを理解し，顕微鏡で“見られて見せられる”ようにする。 ・ 象牙質で観察できる「原生象牙質，外套象牙質，髄周象牙質，象牙細管の走行，側枝，終枝，Tomes 顆粒層」をスケッチしながら，これらを顕微鏡下で“同定できて，他者に指し示せる”ようになる。

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第2回 10月14日 鳥海 拓 他10名	2. 象牙質	<ul style="list-style-type: none"> 象牙質で観察できる「管周象牙質, 管間象牙質, 球間網, 球間象牙質, Owen 外形線, von Ebner 線, 石灰化球, 球状石灰化, 板状石灰化, 象牙前質, 石灰化前線」をスケッチしながら, これらを顕微鏡下で“同定できて, 他者に指し示せる”ようになる。
第3回 10月21日 鳥海 拓 他10名	2. 象牙質 3. 歯髄	<ul style="list-style-type: none"> 象牙質で観察できる「第二象牙質, 第三象牙質, 死帯, 透明象牙質」をスケッチしながら, これらを顕微鏡下で“同定できて, 他者に指し示せる”ようになる。 歯髄で観察できる「象牙芽細胞層, 細胞稀薄層(Weil 層), 細胞稠密層, 象牙芽細胞, 線維芽細胞, 膠原線維, 血管, 神経線維」をスケッチしながら, これらを顕微鏡下で“同定できて, 他者に指し示せる”ようになる。なお, Raschkow 神経叢は観察できないが, どこに存在するはずかは指し示せるように。また, 墨汁注入標本の観察で, 歯髄内の血管分布を理解する。
第4回 10月28日 鳥海 拓 他10名	4. エナメル質	<ul style="list-style-type: none"> エナメル質で観察できる「エナメル小柱, Hunter-Schreger 条, 横紋, Retzius 線条, 新産線」をスケッチしながら, これらを顕微鏡下で“同定できて, 他者に指し示せる”ようになる。
第5回 11月4日 鳥海 拓 他10名	4. エナメル質	<ul style="list-style-type: none"> エナメル質で観察できる「エナメル象牙境, エナメル葉, エナメル叢, エナメル紡錘, 象牙芽細胞突起」をスケッチしながら, これらを顕微鏡下で“同定できて, 他者に指し示せる”ようになる。
第6回 11月11日 鳥海 拓 他10名	5. 歯周組織の全体像 6. 歯根膜 7. セメント質	<ul style="list-style-type: none"> 歯周組織を構成する主要4組織の位置や相互関係を, 標本をスケッチしながら理解する。 歯根膜で観察できる「歯根膜線維(主線維), 線維芽細胞, セメント芽細胞, 骨芽細胞, 脈管神経隙, Malassez 上皮遺残」をスケッチしながら, これらを顕微鏡下で

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
		<p>“同定できて、他者に指し示せる”ようになる。</p> <ul style="list-style-type: none"> セメント質で観察できる「セメントエナメル境, 細胞性セメント質, 無細胞性セメント質, セメント細胞, セメント小腔, セメント細管, セメント小体, Sharpey 線維, 類セメント質, 中間セメント質」をスケッチしながら, これらを顕微鏡下で“同定できて、他者に指し示せる”ようになる。
<p>第7回11月18日 鳥海 拓 他10名</p>	<p>8. 歯槽骨 9. 歯肉</p>	<ul style="list-style-type: none"> 歯槽骨で観察できる「固有歯槽骨, 支持歯槽骨, 束状骨, Sharpey 線維, 層板骨, 歯槽硬線, 骨芽細胞, 骨細胞, 類骨」をスケッチしながら, これらを顕微鏡下で“同定できて、他者に指し示せる”ようになる。 歯肉で観察できる「口腔上皮, 遊離歯肉, 付着歯肉, 遊離歯肉溝, 歯-歯肉境, 上皮脚, 歯肉溝, 歯肉溝上皮, 細胞浸潤, 接合上皮, 歯肉線維」をスケッチしながら, これらを顕微鏡下で“同定できて、他者に指し示せる”ようになる。
<p>第8回11月21日(月) 鳥海 拓 湯口 眞紀 山崎 洋介 磯川 桂太郎</p>	<p>10. 実習試験</p>	<p>第1～7回の実習内容を範囲とする試験を実施する。詳細は別途通知する。</p>

なお、本教科は実習教科であるので、定期試験は行われたい。